

絹中学区小中一貫校についてのお知らせ



平成28年3月 第7号

小中一貫校（絹中学区）推進委員会

●平成27年度 第5回推進委員会の結果概要

平成27年度第5回目の会議が、1月25日（月）に絹公民館で開催されました。今回は平成29年4月開校予定の学校の校名アンケートについて検討をおこないました。委員会内での主な質問については下記をご覧ください。



【平成27年度 第5回推進委員会で出た主な意見や質問等】

- ① 萱橋小の調理場を復活させた場合、萱橋小の給食は、その調理場で作ったものとなるのか？
→ その予定です。
- ② 現在、絹中は給食をランチルームで食べているが、5年生から9年生が現絹中校舎で生活するということは、5年生から給食をランチルームで食べることになるのか？
→ 現絹中のランチルームは2クラス分しか入ることのできない大きさです。そのため、5年生から9年生が現絹中校舎で生活する場合の給食は、教室で食べることを想定しています。
現絹中ランチルームの使用については、異学年交流や、5年生や6年生の使用などが考えられます。
- ③ 跡地利用について絹地区社会福祉協議会の中で意見が出てきているが、そのような意見はどのように拾い上げてもらえるのか？
→ 今回の跡地利用アンケートについては、絹地区の方が一人一枚応募可能となっています。絹地区社会福祉協議会として意見がまとまっているのであれば、アンケートにその旨を記載いただくことで、アンケート結果に反映できると考えています。

● 校名アンケートにご協力ありがとうございました！



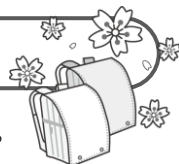
平成29年4月開校予定の絹地区の9年制の義務教育学校の校名について、2月1日から2月29日の間、絹地区のみなさまからアンケート調査をおこないました。多くの皆様のご協力、どうもありがとうございました。次回3月の委員会で候補を選定する予定です。

～校名決定までの流れ～

校名アンケート → 3月の推進委員会で候補選定 → 教育委員会・市の選定 → 6月市議会で議決予定

● 次回推進委員会の開催について

次回の推進委員会は3月中旬頃を予定しております。結果は次回会報にてお知らせいたします。



言葉の定義

義務教育学校は1～9年生の学校となるため…

・小学校 → 前期課程(1～6年生)

・中学校 → 後期課程(7～9年生)

といいます

※先生の免許は小学校免許、中学校免許という言葉のままになります

● 義務教育学校になった場合、どのようなことが可能になるの？



事例1：後期課程の先生が前期課程で授業をすることが可能になり、前期課程の先生が後期課程で授業をすることも可能となる！

詳しくは…

現在、中学校では教科担任制と呼ばれる、教科ごとに専門の免許を持った先生が指導する形態をとっています。義務教育学校となった場合、後期課程の先生が専門科目を前期課程で指導することが可能となり、また、前期課程の先生で中学校免許も所有している先生が後期課程にて免許所有科目の授業をすることも可能となります。

どのようなメリットがあるの？



- ・早い段階から教科について高い専門性のある先生が授業を行うことで、子どもたちにとってより良い成果が期待できる！
- ・多くの先生との出会いが生まれる！
- ・義務教育前期課程と後期課程を、より緩やかにつなぐことができる！
- ・義務教育学校という1つの学校となるため、先生同士の交流もより円滑にできる！

～ 絹地区義務教育学校のイメージ ～

